

付き添いの手配に転手古舞いの忙しさであった。

エチオピアのアイドリス氏は ベントナイトの探掘精製に強い興味をもち 個別研修にもそれを選んだので群馬県松井田の三立鉱業のご好意で 坑内探掘より精製袋詰め 積み出しにいたる工程を1週間見学することになり 筆者とともども上野駅を出発し 松井田到着は昼すぎとなったが 妙義山麓の町は 師走の空っ風が身を切る様に寒く 熱帯育ちのエチオピア人にはかなりこたえていることであろう。 礁氷関所跡の傍にある工場からすぐ作業服 ヘルメット 長靴に身を装って入坑 地下50mのベントナイト層の掘さく現場を見る。 案内の山口工場長より 地質の概況 ベントナイト原土の質の見わけ方 掘さく上の注意などの説明に 研修生中もっとも熱心な生徒のアイドリス氏は 質問の切れ目が無い。 準備よく持ってきたフラッシュで 坑内の様子 掘さく状況も撮っている。 彼のオフィスでは 輸入したベントナイトか あり合せの粘土で代用している由であるがこの経験が帰国して 良いベントナイト層発見につながることを祈りたい。 泥まみれになって地上に出てきた時は はや早い冬の陽は暮れなんととして 寒風は一段ときびしさを増していた。

12月17日

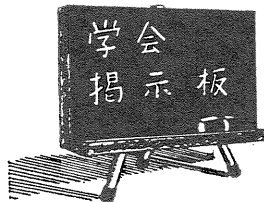
28週間の研修もつつがなく終って 本日は最終エヴァ

リュエーションに続いて 午後はいよいよ終講式である。 7ヵ月も家族と離れ なれぬ異国に過した研修生達は この日の1日も早からんことを何度も祈ったことであろう。 われわれのもっとも心を砕いたこと 7ヵ月の研修期間中事故や病気の無いこと 研修効果があがっていることの2点であった。 前者は無事全員帰国できるし 後者は最終エヴァリュエーションとレポートで 完全ではないにしても まず相応の成果を全員が得ていることが確認され ほっと胸をなでおろした所である。

式はオフショアコースと合同で行なわれ GS OTCA さく井協会の三者より終了免状 サーティフィケートが渡され これによって彼等の未来も一段と明るく約束されたことであろう。 式の間中 じっと彼等の顔を見つめながら 28週間のいろいろの出来事 楽しかったことも苦しかったも次々と想い出され またその上気した顔に 日本でおぼえ体験した有形無形の知識経験を 君等の国で100%活用して 祖国前進の大きなエネルギーになってくれ と無言で話し続けていた。

式終了後のサヨナラパーティでは ひとりひとりと固い握手をかわしながら言った言葉は皆同じであった。 君達は素晴らしい紳士だ。 君等のそのたくましいエネルギーで はやく日本に追いつき 追いこしてくれ給え。 また機会があったら是非日本に来てくれることを。

(筆者は海外地質調査協力室)



・ Symposium on the Indian Ocean and Adjacent Seas

1. 1971年1月12日~18日
2. インド洋および近傍海域に関するシンポジウム (地質・地球物理・堆積・海洋・天文・水産)

3. コーチン(インド)
4. インド海洋生物学協会
5. The Convener, Symposium on the Indian Ocean and Adjacent Seas, Marine Fisheries P. O., Ramanathapuram District, Madras State, India

・ 3rd International Conference on Palynology

1. 1971年6月19日~25日
2. 第3回国際花粉学会議
3. ノボンビルスク (ソ連)
4. 国際花粉学会
5. M. I. Neustadt, Institute of Geography, Acad. of Science of the USSR, Staromonetny per 29, Mascow B-17, USSR

・ Asian Regional Conference, Internatioaal Association of Hydrogeologists

1. 1971年8月18日~27日
2. 国際水文地質学会アジア地域会議
3. 東京
4. 日本地下水学会
5. 川崎市久本町135 地質調査所水資源課内 日本地下水学会 ☎ (044) 86-3171 (代)

・ XII Pacific Science Congress

1. 1971年8月18日~27日
2. 第12回太平洋学術会議
3. キャンベラ (オーストラリア)
4. 太平洋学術会議組織委員会
5. Exective Secretary, Australian Academy of Science, Gordon Street, Canberra City, Australia

・ 8th International Congress of the International Association of Sedimentologists

1. 1971年8月30日~9月4日
2. 第8回国際堆積学会議
3. ハイデルベルグ (西独)
4. 国際堆積学会
5. G. Müller, Laboratorium für Sedimentforschung, University of Heidelberg, Heidelberg, W. Germany.

[注] 1. 開催年月 2. 会合名 3. 会場 4. 主催者
5. 連絡先 (掲載順位は原稿到着順)